

授業で!

デジタル地図帳を活用しよう!

192Cafe × デジタル地図帳 コラボイベントが開催されました!

2024年8月東京で開催された「192Cafe meet デジタル地図帳」は、
デジタル地図帳を活用した授業アイデアを考え共有するイベント。

私立・公立小学校から参加した約30名の先生が教材研究をし、それを経て生まれた授業アイデアを
グループで話し合い、発表、共有し合いました。すぐに実践できそうな活用術から改善のアイデアまで、
ICT教育や地図教育への熱い思いで先生どうしがつながる1日となりました。



192Cafeとは?

私立小学校の先生たちを中心としたコミュニティ。「教育×ICT」をテーマに、学校、教科間の壁を越えて「未来の学び」について考える情報共有の場として、さまざまなイベントやセミナー、研究会などを開催しています。

まずは使ってみよう!

いろんな機能を試して、
いじり倒してみてくださいね!



先生それぞれの視点や授業環境
から生まれたアイデアを話し合
うグループディスカッション。



「たくさん使ってみて、周りに広めてほしい」という192Cafe事務局
の為田さん(写真中央上)の呼びかけで、まずは教材研究から。

使い方や機能を帝国書院スタッフが
しっかりサポート!

デジタル地図帳、ここがいい!ここが惜しい!

リアルタイムでの投稿内容には、
続々と、ほかの先生から
「いいね」やコメントで反応が!

掲示板アプリ(Padlet)を使って、授業アイ
デアをブルー、イチオシ機能をイエロー、改善の
要望をレッドで共有しました。

統計
統計のソートとして、地方ごとにソート
できるといいかもです。
例えば、人口の上位順を東北地方に
絞って表示...など

統計×土地活用
統計地図と土地活用の様子をレイヤー
で重ねる

**雨温図を使っ、二つの都市を比較し
た授業。また、重ねるのも面白いと思
いました。**

**リアルタイムでの投稿内容には、
続々と、ほかの先生から
「いいね」やコメントで反応が!**

**【英語の授業】単元:Which
way is north?**

**雨温図を並べられるのは2つ
だけ?!**
雨温図を並べるとわかりやすかったで
す!4, 5枚並べられると各地方の雨温
図を並べてみたい。

地図から資料に
動画を 00:07
RPReplay_Final1723093787
ピンを押すと資料に

距離計測の方法が多い!
歩いたら...とか、新幹線なら...とか、
選択肢が多く思考の幅が広がる

なぞって計測の時間モード
飛脚の時速10kmが速すぎ、、時速
3-5kmで普通に歩くとのくらいかか
るのか知りたい

**統計データ→その国の場所ま
でわかる**

ボタン1つで地図まで飛べるのが良い

グループディスカッションで成果を共有！

先生それぞれの授業アイデアとして共有された内容は、「レイヤー切り替え」「距離計測」「統計資料」の3つの機能に集約されました。それぞれのテーマでグループになり、意見やアイデアをまとめて発表しました。



Group 1

レイヤー切り替え

情報を絞ることで、子どもたちに分かりやすく伝えられる。

- レイヤー表示の選択で情報が絞れる。授業で子どもたちに学んでほしい情報に効果的にアクセスできて、先生も準備が楽になる。
- 国土地理院の地理院地図と連動できる機能があると便利かもしれない。



帝国書院より

ピンチインしていくと自動的にWebの地図に切り替わったり、ピンチアウトすると帝国書院の地図に戻ったりできると防災や身近な地域の学習につながると思うので、今後、身近な地域の地図との連携はしっかりやりたいですね。



Group 2

距離計測

身の回りに結び付けて距離感をつかみやすい。

- 同心円を使うことで100km圏などの距離感をつかめる。
- 国語の授業で手こぎ船で移動する場面が出てきたときに、デジタル地図帳を活用すれば、手こぎ船で「おばあちゃんの家までいける距離だね」などと実際の距離に結び付けて考えられる。



帝国書院より

他教科との連携を意識しているので、同心円や自由曲線の距離計測などの機能が増えました。やはり24時間でどこまで歩けるか、というような距離感をつかめることは大事にしています。



Group 3

統計資料

統計地図やランキングで瞬時に比較化・視覚化。

- 統計資料から自動的に作れるものには統計地図と円グラフの2種類があり使いやすい。さらにレイヤー切り替えで自然や土地利用を確認すれば、その原因や要因を考えることができる。
- 色分けされた地図でランキングが瞬時に見える化できる。上位10位と下位10位の両方を各地図で表示できるといい。



帝国書院より

統計情報の地図化、グラフ化といった、デジタルだからこそできることは突きつめたいと思っています。また、上位があれば下位があるので、ぜひやりたいですね。



参加した先生に感想を聞きました

「雨温図が楽しい！ 4年生の算数でも使えそうです」

日本女子大学附属豊明小学校 齋藤華子先生



棒グラフと折れ線グラフを学習する4年生の算数でも雨温図を使えるかなと思いました。6年生になっても、江戸時代の参勤交代のルートなどを距離計測を活用して調べさせたいですね。

「機能がたくさんあって いろいろできるんだなって」

横浜市立西柴小学校 植野鐘太先生



デジタル地図帳は初期設定していても使っていなかったので、このように多くの機能があって、いろいろできると体験できたことは大きかったです。さまざまな場面で使っていきたいです。

「選ぶことができるのは すごく素晴らしいと思います」

練馬区立大泉第四小学校 内海孝亮先生



表示するレイヤーを一から選べるなど、子どもたちにも選択権がある。子どもたち自身で選択して学びを決めていくというのに有効活用できるなと思いました。

「届けたい情報を 効果的・効率的に渡せそうですね」

戸田市立芦原小学校 若林広泰先生



レイヤー機能は先生が届けたい情報を効率的に伝えられるし、子どもたち自身が表示する要素を自由に選定することもできる。効果的に使えそうですね。

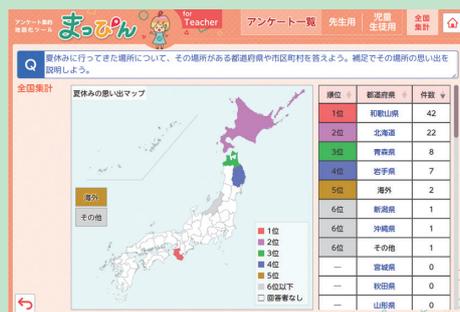
192Cafe事務局より

子どもの意欲や関心を引き出すデジタル地図帳



為田裕行氏
192Cafe事務局/
フューチャーインスティテュート
株式会社 代表取締役

デジタル地図帳は、紙の地図帳がただデジタル表示されたものと思う方が多いのですが、情報量を子どもの理解や発達段階に応じてコントロールしたり、アンケートをとって子どもたちの回答を地図やランキングに反映するツールがあったり、学校現場で使うことに特化して作られています。学校によって、子どもたちの様子も学力も必要な授業も違う。だからこそ同じ機能でも、どういうふうにするかのような目的で使うのか、先生一人一人が子どもたちの反応を見ながら有機的に活用できるものだと思います。ぜひ、自分の学校や周りの先生、ひいては保護者にも広めていただきたいと思います。



アンケート集約地図化ツール まっぴん

「192Cafe meet デジタル地図帳」のイベントの様子は
Webサイトでも詳しく紹介しています。
右のQRコードからアクセスください。

令和6年度版『楽しく学ぶ 小学生の地図帳 指導書 指導者用デジタル教科書(教材)』が、お手元にある方は、ぜひ一度使ってみてください。

Webサイト

指導者用
デジタル教科書

